

## 不適合情報

2022年1月12日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	6号機	中央制御室において、大型表示盤警報装置の表示(使用済み燃料プールに係る警報含む)が消灯し、原子炉系統の警報装置故障警報の発生を確認した。警報装置が消灯している間も、他の表示盤で監視は継続されており、異常がなかったことを確認済み。調査の結果、原子炉系警報補助盤の電源スイッチが遮断状態となっており、電源復旧を行い当該警報装置を再表示、正常に動作することを確認。当該事象発生時、他の制御盤の更新作業を行っており、関連性も含めて原因を調査。	2022/01/11	G III

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	タービン建屋2階(管理区域)南東側で足場の移動作業に従事していた協力企業作業員のγβ線用警報付きポケット線量計が鳴動したことを確認した。線量計を確認したところ、γ線0.00mSv、β線量0.0mSvであったが、退域して保安監視員に報告。作業場所の線量測定を行い、線源がないことを確認。線量計の異常と判断し、当該線量計の使用を禁止。作業員の線量評価を実施。	2022/01/06	
2	7号機	安全対策工事の設計管理業務(設計検証)において、承認権限者でない者が承認していたことを確認した。検証内容を本来の権限者に説明し、承認を実施。	2022/01/06	